

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クローバーふたば		
○保護者評価実施期間	2025年2月18日 ～ 2025年2月24日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2025年2月18日 ～ 2025年2月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関連園の児童が多く利用されていることもあり、園との情報共有や利用についての相談などはしやすい点。	関連園については各園の園長や主任、担任とも連絡を取り、保護者の方が困っていること、最近の園での様子等を聞きつつ、活動に反映すること。	法人内でもクローバーの事業をより知ってもらい、また保護者についても気軽に足を運んでいただける機会を持ちたいと考え、関連園が実施するサマースクール、子ども祭りでの事業所開放をR7年度より実施予定。
2	働いている方が下野市内でも8割超となる中、児童発達支援及び放課後等デイサービスにおいて、送迎対応を実施している点。	下野市外においても一部送迎できる地域についてはニーズがあれば実施できている(上三川町の一部)	過去に問合せのあった宇都宮市南部についても今後、利用ニーズがあった際には検討したい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種内部の規則・マニュアル部分の浸透	BCPやほかの規程類についてもそろっていても職員への周知不足となっていることが本アンケートにて認められたため。	毎月の職員会議時に、都度、マニュアルや規定類の確認を行う時間を設けたい。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等は少ない	保護者に対して自治体などから案内があったものを周知したが、有識者などの講演会を事業所にて企画することはなかった。	研修等で講師と知り合った際は講演の依頼ができるよう検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 クローバーふたば

公表日 2025年3月31日

利用児童数

29組

回収数

16組

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	5				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	3				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	3		1	利用して間もない為不明	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1	利用して間もない為不明	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		2	利用して間もない為不明	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3	利用して間もない為不明	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15		1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	2	4	利用して間もない為不明	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1	1	1	毎回利用内容がわかるのはありがたいです	ありがとうございます。 今後も児童の様子が変わりやすい内容となるよう努めていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3		2	利用して間もない為不明	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			2	利用して間もない為不明	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	3	7	利用して間もない為不明	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	1	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		7	利用して間もないため不明	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		6	利用して間もないため不明	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			6	利用して間もない、事故発生していないため不明	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			息子はクローバーに行く日を本当に楽しみにしています。先生方のおかげです。ありがとうございます。とっても楽しみに通っています。	ありがとうございます。今後も楽しく活動し、改善がみられるよう協力して実施していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			送迎がありがたい。毎回何をしたらかわかりやすいので夫とも共有しやすい。丁寧に一人一人の個性を大切に子供達を支援してくれています。	ありがとうございます。いつも園や学校へのご連絡、情報共有あってこそ成り立っております。今後ともよろしくお願い致します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス クローバーふたば

公表日 2025年3月31日

利用児童数

15組

回収数

6組

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2	1	1	動き回ったりすると思うので広いスペースの いいのかなと思います。 学習するにはちょうど良いが体を動かすとなると もう少し広い方がよいのではないかと。思う。	ありがとうございます。 広さを考えることは難しいですが、片付け等工夫し て少しでも広く活動できるよう今後も工夫していき ます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1			本人にわかりやすい構造化された環境は いいと思いますがバリアフリーとかは難 しい感じがします	ありがとうございます。 入り口等に段差等があるため、難しい面はありますが が安全に使用できるよう職員一同協力していきま す。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	5	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	5	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	6					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	5	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	6					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	2	2		2	必要性を感じない。今のままで良いと思 います。	ありがとうございます。 現状は長期休み時に児童館へ行ったりぐらいの活動 となっております。今後も地域資源をうまく活用し ながら進めてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	5	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニン グ等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	3	2	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	6					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	2	1	必要性を感じない。今のままで良いと思 います。	市内の方、8割強の方が共働きということもあり、 保護者会は難しい面もありますが、イベント等につ いては今後のご意見も含めて検討して参ります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5		1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3		1	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1		1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1			長期休暇は朝8:30に自宅まで迎えに来て頂けると助かります。	ありがとうございます。今後の運営の参考とさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス クローバーふたば		公表日		2025年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		部屋が一つのため、パーテーションで部屋をわけて、個別療育等を行うなどしている。 部屋が一つのため、パーテーションで部屋をわけて、個別療育等を行うなどしている。	基準上は2.47㎡/人以上となっているので倍以上の面積は確保しているが、運動を行うには抱いに越したことは無いため、工夫や片付け等で少しでも活動時広く使用できるよう工夫していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		常勤の先生がたくさんいたのでよかった！ 急な休みが出ても回せる。 午後児発と放課後デイの送迎が重なる時間帯は、園児の机を少し短縮するなどしてバタバタしたり、午後児発と午前の送迎終了後の休憩を少し短縮しての出発になったりしている先生もいたが、新年度人数と職員配置が落ち着けば対応できそう。	同じ規模の他法人事業所と比較すると、常勤割合を高くしているため、情報共有等の面では非常に良い面が出ていると考えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	運動器具が子供の目につくところにあり、活動の妨げになっている時があった。 触りたい、出したい、遊びたいと見える器具にかけよっていってしまう。 目で見えわかるように流れなど伝え方を工夫している	感覚統合遊具等、大きなものが多いため、難しい面もあるが、パーテーション等利用しながら、今後も工夫していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	暑い日、あたたかい日の室内温度や湿度が高くなり運動するのに厳しい日もあった。エアコンやサーキュレーターをつける、過度に換気などをする、子供に給水させるで対応した。	今後も室温計など見つ、適切に運営したい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	パーテーションを使い、必要に応じて個室にした空間づくりができる。 最近、クールダウン部屋としてトイレのドアを閉めた洗面所の中で過ごす園児がいる。ちらちらとドアを開けてこごらの様子を伺いながら、自分なりの方法でクールダウンしているが… 個別の部屋は難しいがパーテーション等で必要に応じて区切っている	1部屋となっているため、パーテーションをうまく使用しながら使用している。今後も方法を検討していきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員会議時に職員間で出た意見を話し合ったりしている	—	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	新しい事業所である為、今回より考えていければ良いと思う。 評価表というものはないがモニタリング時や今回行っているような年1回のアンケートで今後改善につなげればよいと思う。	—	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議時	—	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	関連園で実施しているような第三者評価は受審していない	—	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		ジョブメドレーアカデミーや施設内研修や外部研修等を実施している	—	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに公表されている	—	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		適切に実施されていると思うが、今後のことも考えてアセスメントが属人化しないように新たにシステム検討中である。	新しくco-miiというシステムを導入し、今後の運営の手助けとしたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		利用者について情報交換、共通理解をする時間を設けている。 水曜日の会議のおかげで、子供たちの実態現状について全員で情報交換できた！ 毎週、児童について話し合う機会を設けている。	—	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		問3に同じ 職員会議時に共有している。また作成時に職員間で回覧している	—	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	アセスメントについて確認する項目等は決まっている。	—	

16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		—	—
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		相談できる同僚がたくさんいた。 運動チームと机上活動チームに分けて立案などを行っている。	—
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		意見を出し合う場を設けている。 メインとなる活動のテーマはおおむね決めているがその日のメンバーなどにより内容等は微調整をしている。	—
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		—	—
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		児童を迎える前に話し合っている。	—
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	午前午後と利用人数が多いは園児のバグのつち終わりの放課後デイの帰り間際になってしまふ暇あったりで、話せない日中にはあった。	長期休み等一日、学童がいる際に難しい時があるため、送迎等を工夫し、時間を確保したい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		—	—
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1度実施している。	—
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管もしくは管理者が参加している	—
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	病院はないが関連園と連携などはしている	—
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	関連園とは共有したりしている	—
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5	就学時の移行はまだ迎えていないが、移行の際には情報交換を行う予定である。 わからない	—
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	こぼと園を併用していたりする児童については個別に問合せたりすることもあった	—
29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	子供達が社会と交流する機会という点ではなかなか儲けるのが難しかった。 在園しているところ以外、クローバーとしてはない	—
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	クローバーで実施した内容等は活動写真とコメントで共有されている	—
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	自治体などからいただいた研修会や講演会等は保護者にも周知させていただいている	—
32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明している	—
33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ご契約時に伺っている	—
34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		—	—

	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて電話連絡、LINE、面談を実施している	—
保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者会はない	—
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		必要に応じて電話連絡、LINE、面談を実施している	—
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		—	—
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		—	—
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		—	—
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	1	5	説明会、体験会など？令和7年度から法人にて実施している施設開放行事をクローバーでも実施予定。	R7年度より関連園にて実施しているサマースクール、子ども祭り等に参加し、事業所解放、体験を行う予定。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	準備しているものもあるが、発生した時に職員同士で意見を出し合い対応している場合もある。会議などで起きた時の打ち合わせ等はできている。	—
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	—	BCPの策定は行っているが、周知、把握に一部課題が認められるため、今後の職員会議時に再度共有したい。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		—	—
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	現在、給食利用児にアレルギーのある子どもはいないが、今後、アレルギーのある子どもの利用があれば、対応していく。 今のところ若干名なので。	—
非常時等の対応	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		—	—
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に避難場所等を口頭にて説明	—
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		—	—
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		契約時にご説明	—

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス クローバーふたば		2025年3月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		下校時間等によってパーテーション等で区切ったりしている	基準上は2.47㎡/人以上となっているので倍以上の面積は確保しているが、運動を行うには抱いに越したことは無いため、工夫や片付け等で少しでも活動時広く使用できるように工夫していきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		他事業所と比較しても多い方だと思う	同じ規模の他法人事業所と比較すると、常勤割合を高くしているため、情報共有等の面では非常に良い面が出ていると考えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	子どもの目に入る場所に器具があり、活動の妨げになることがある。 一日の流れをホワイトボードに示してわかりやすいようにしている	感覚統合遊具等、大きなものが多いため、難しい面もあるが、パーテーション等利用しながら、今後も工夫していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	暑い日、あたたかい日の温度や室内温度が、たくさん運動するには少し厳しい環境であった。 清潔にされている	今後も室温計など見つづ、適切に運営したい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	パーテーションを使い、必要に応じて部屋を区切って利用している。 部屋が一つの為、パーテーションを利用し区切る等工夫している。 クールダウン場所、具合の悪い時に休む場所がない。 (後半は子供達が自らクールダウン場所を見つけて使用していた。洗面所のドアを開けて、コアラスイングのパーテーションの中。長机の下など) 個室はないがパーテーションなどで区切られるようにしている	1部屋となっているため、パーテーションをうまく使用しながら使用している。今後も方法を検討していきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	—	—
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	年1回のアンケート実施により、今後改善につなげていけるといと思う。またモニタリング時にいただいたご意見を参考にさせていただいている。	—
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	定期的に会議を設けている。 職員会議を毎月実施してその際に課題など話し合っている。	—
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	関連施設で実施しているような第三者評価はしていない	—
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		ジョブメドレーアカデミー、法人内研修等実施されている	—
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに公開している	—
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		—	—
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		定期的に子どもについて話し合う場を設けている。 水曜日の児童に関する会議や日々の会話の中で児童曹もしくは管理者が参加している	—
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		—	—
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	アセスメント項目は決まっている。	—

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		—	—
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		曜日の担当性は子供の特性、成長の過程がよく見え、それに沿った支援ができ、よかったと思う。	—
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		—	—
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		利用している児童の構成によって多少内容を工夫している	—
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		—	—
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	なかなか時間が取れないのが現状 気になった点は共有している	長期休み等一日、学童がいる際に難しい時があるため、送迎等を工夫し、時間を確保したい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		—	—
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		—	—
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		—	—
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		—	—
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	—	—
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	卒園した園には様子を関連園に限り、聞いたりしている	—
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		—	—
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		—	—
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6	できて間もない施設であり障害福祉サービス事業所等へ移行するケースがない。 まだ、対象者がいない為そのようなことはないが将来的に必要であると感じる。 まだわからない 該当するような児童が今のところいない	対象児童がまだいないため、今後の課題としたい。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	—	—
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	地域の児童館や図書館等を積極的に利用し交流を図る機会をもっている。	—
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	わからない	自治体にて実施している会議には年に数回参加している。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		—	—

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	自治体などから案内された講演会などは周知している	—
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		—	—
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		—	—
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		—	—
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		—	—
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	5	—	—
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		—	—
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		—	—
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		—	—
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		—	—
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	1	5	説明会、体験会など？ 令和7年度から法人にて実施している施設開放行事をクローバーでも実施予定。	—
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	準備しているものもあるが、発生した時に職員同士で意見を出し合い対応している場合もある。 会議などで起きた時の打ち合わせ等はできている。	—
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	—	BCPの策定は行っているが、周知、把握に一部課題が認められるため、今後の職員会議時に再度共有したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		—	—
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	現在、給食利用児にアレルギーのある子どもはいないが、今後、アレルギーのある子どもの利用があれば、対応していく。 今のところ若干名なので。	—
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		—	—
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に避難場所等を口頭にて説明	—
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		—	ヒヤリハットの事例があった際には全体チャットにて共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		—	県にて実施している虐待研修にR6年度は管理者が参加。その後、職員対象に研修実施（2月）
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時にご説明	—

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 クローバーふたば

公表日 2025 年 3 月 22 日

利用児童数 2025 年 3 月 22 日

回収数 1 / 3名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				
		2025 年 3月 22日				
		利用児童数				
		2025 年 2 月 18 日 回収数 2/2施設				
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			子どもの様子や支援方法など、訪問支援の時に話をしてくれました。 現場で取り入れやすいアドバイスで助かってい ます。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			園での支援方法なども的確にアドバイスをいた だきました。 相談しやすいです。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			とても丁寧に回答していただきました。 相談しやすいです。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			子どもの課題なども少しずつですが、解消して いる姿が見られました。 アドバイスによって、対応の仕方を全職員で統 一するようになり、現在対応中です。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			満足しています。訪問支援後別室などで情報共 有の時間をもらえたらもっと充実すると思いま す。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
保育中の観察なので、支援委員との情報共有が難しいため保育後などに、訪問支援を行ったときのカンファレンスなどを行いたいと思いました。 いつもいろいろとご相談させていただき大変助かっております。				お忙しい中事業所評価についてご協力いただきありがとうございます。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
クローバーふたば		2025 年 3 月 22 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1		訪問支援後は、職員向け報告書を記載しファイリングし共有することができている	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1		第三者評価の実施はしていない
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1			
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	1		モニタリング時に訪問支援の担当者が同席し保護者の意向等を聞くことができる機会があったことは良かったと感じる	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1		ケース会議等で子どもの様子を話し合い課題や支援方法等、話せる機会があることは良いと感じる	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	1			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		1	訪問支援には1名で訪問する為チームで連携する、という支援は行ってはいない	訪問後には職員間で情報共有できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1		訪問後、打ち合わせという形ではないが口頭で報告し、後日報告書で職員に把握してもらっている	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	1		訪問先の担任の先生と話しながら支援を行っている	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1		訪問先の担任の先生と話しながら支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		1		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		1		R7年度より管理者が自立支援協議会に参加予定
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		1	保護者同士が交流できる機会を設けることは今後、考えていけたらよいと思う	利用者同士の悩み相談等、機会を設けて実施を検討している。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	1			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	1		保護者同士が交流できる機会を設けることは今後、考えていけたらよいと思う	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1			

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	1			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	1			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		1		職員とは法人のものは共有しているが利用者のご家族には、訪問支援については訪問先の規定などがあるため、実施していない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	1			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1			